

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年11月21日)

ページ

- 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッション優先交渉権者の選定結果の公表について
【交通政策課】・・・2
- 空港関係者へのメール送信時における個人情報の漏えいについて
【観光戦略課】・・・4
- とっとりリアル・パビリオンの実績について
【観光戦略課】・・・5
- 米子ソウル国際定期便のデイリー運航について
【国際観光課】・・・7
- 第26回日中韓3か国地方政府交流会議への参加及び上海吉祥航空へのプロモーションについて
【交流推進課・国際観光課】・・・8
- フランス・パリでの知事トッププロモーション等について
【交流推進課】・・・9
- 調布市「ゲゲゲ忌」における情報発信について
【まんが王国官房】・・・11

輝く鳥取創造本部

鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッション優先交渉権者の選定結果の公表について

令和7年11月21日
交通政策課

鳥取砂丘コナン空港の第2期コンセッションについては2者から応募があり、令和7年10月17日に優先交渉権者選定審査会（以下「審査会」）（第5回（最終）：第二次審査）を開催し、その結果を受けて、優先交渉権者を選定しました。このことについて、令和7年11月10日に各応募者に通知し、公表しましたので報告します。

1 優先交渉権者として選定する者

名 称	J P i X ・ O C （ジェイピクス・オーシー） コンソーシアム
代表企業	（株）日本共創プラットフォーム [県外企業] ※南紀白浜空港運営権者（H31.4～） ※富山空港運営権者（R8.4～（予定））
構 成 員	（株）オリエンタルコンサルタンツ [県外企業]

※今後、優先交渉権者が、本事業の遂行のみを目的とする特別目的会社（所在地：鳥取空港）を設立し、新たな県内企業として実施主体となる予定

2 審査結果

コンソーシアム名	J P i X ・ O C コンソーシアム	輝く鳥取の翼コンソーシアム
得点（200点満点）	131.5点	116.5点

※優先交渉権者と基本協定又は実施契約に至らなかった場合の次点交渉権者は、「輝く鳥取の翼コンソーシアム」となりました。

名 称	輝く鳥取の翼コンソーシアム
代表企業	日ノ丸自動車(株) [県内企業]
構 成 員 (県外8社)	ANAホールディングス(株)、ANAファシリティーズ(株)、全日空商事(株) 大成建設(株)、大成コンセッション(株) 芙蓉総合リース(株)、中国電力(株)、NTT西日本(株)
(県内10社)	(株)日ノ丸総本社、日ノ丸産業(株)、大山日ノ丸証券(株)、大和建設(株) (株)鳥取砂丘会館、日本海テレビジョン放送(株)、中央印刷(株)、日本交通(株) (株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行

3 審査会の審査講評

審査会における審査の詳細及び講評について、本日、公表しました。審査会における優先交渉権者の提案に対する評価は次のとおりです。※詳細は、県ホームページに掲載しています。

https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1406933/ttj_shinsakohyo.pdf

（優先交渉権者の提案に対する審査会の評価）

- ・全体事業方針について、二次交通、人口減少や観光需要の偏在等の課題を的確に認識し、空港が単なる交通インフラにとどまらず、地域課題を解決し地域の発展に寄与する空港のイメージが醸成されている点を評価した。
- ・航空ネットワークや空港機能維持に係る提案については、第二種旅行業登録とこれを活かした施策や朝便の搭乗率向上策など羽田便の5便維持の具体策、他空港での実績を踏まえた先進技術の導入による脱属人化・効率化施策を評価した。
- ・にぎわいの創出に係る提案については、第二種旅行業登録の強みを生かした旅行商品造成・誘客、ニーズの独自分析を踏まえた「空の駅」化、観光の視点を取り入れたツインポート構想、多様な移動手段の導入などの提案を評価した。
- ・地域経済に対する提案については、県内事業者・地域人材による自立的な空港運営の実現に向けた技術・ノウハウの継承策が具体的に明記されている点を評価した一方、県内事業者が協力企業として空港運営の中核的役割を担うことの実現性が不透明であった。
- ・事業実施体制については、迅速な意思決定が期待できること、現在の人員・体制を継承し事業継続性を確保すること、他空港で実績のある人事評価制度導入で職員の前向きなキャリア形成を後押しすること、教育研修体制・資格取得の支援を整えることの提案を評価した。

4 地元企業の参入・関わり方への提案（優先交渉権者）

- 空港は地域の重要なインフラであり、県内事業者との連携を空港運営の基盤と位置付ける
 - これまで空港運営を支えてきた経験と知見の豊富な地元企業が協力企業として本事業の中核的役割を担い、地域主体で支える持続可能な運営モデルを形成
- ※優先交渉権者の提案内容については、令和7年11月20日、優先交渉権者が概要を公表
https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1408384/ttj_teiangaiyo.pdf

5 鳥取空港ビル（株）従業員の雇用の維持・確保の提案（優先交渉権者）

- 現行と同等の待遇を基本とし、希望者全員を継続雇用
- ※募集要項の規定に従い、鳥取空港ビル（株）は、特別目的会社の完全子会社となる。

6 優先交渉権者への運営権設定の条件

審査会において、選定した優先交渉権者の提案内容に関し意見が付され、本県から優先交渉権者に対し運営権設定の条件を設定しました。

【審査会意見（要旨）】

今後の手続きにおいて、県内事業者が協力企業として中核的役割を担うことの実現性を確認していくことが望ましい。

【運営権設定の条件】

- ・提案書のとおり、県内事業者が協力企業として空港運営の中核的役割を担う体制を構築すること。
- ・このことを明らかにするため、県内事業者との協定書その他これに類する書面を提出すること。

7 優先交渉権者選定に係る客観的評価の結果

優先交渉権者の選定に伴い「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）第11条第1項に基づき客観的評価を行った結果は次のとおりです。

○定量的評価

VFM（県の財政負担軽減額）は、特定事業選定時（公募開始時）の客観的評価における4.4億円程度から優先交渉権者の運営交付金削減の提案により1.9億円増額し6.3億円程度となった。

○定性的評価 ※特定事業選定時と同様

PFI事業として実施することによって、空港全体としての一体的・機動的な運営の実現、空港を拠点としたにぎわいの創出、航空サービスの充実、二次交通改善・充実、DX推進、空港脱炭素化の推進といった定性的効果が期待される。

※詳細は、県ホームページに掲載しています。

https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1406932/ttj_senteikekka.pdf

8 第2期事業開始までの今後の予定

時 期	主な内容
令和7年12月 ～令和8年1月	基本協定の締結（県と優先交渉権者） 優先交渉権者による特別目的会社の設立
令和8年2月	運営権設定及び債務負担行為に係る議会への附議
令和8年度	実施契約の締結・公表（4月頃）、業務引継期間（約1年間）
令和9年度	第2期事業開始（4月～）

空港関係者へのメール送信時における個人情報の漏えいについて

令和7年11月21日
観光戦略課

県内空港の利用状況をメール送信する際に、受信者全員に送付先のメールアドレスが見える状態で送信する事案が発生しました。今後、同様の事案が起きないように再発防止策を講じて、情報の適切な管理に努めます。

1 事案発生所部署

輝く鳥取創造本部観光交流局観光戦略課

2 漏えいした情報

メールアドレス 16件

※送信先は空港の利用状況を共有している関係者のみ

3 誤送信した日時

令和7年11月11日（火） 17:18

4 経緯

当初、BCCにて送信（17:06）していたが、送信内容に誤りがあり再送。再送後、宛先に入っている職員が宛先CC欄に受信者のメールアドレスが入っていることを確認。

5 対応状況

令和7年11月11日（火）17:43 受信者に対し、メールで削除依頼を行った。

また、個別に電話連絡し、謝罪を行うとともにメールが削除されていることを確認した。

本件流出に関し、二次被害の報告は受けていない。

6 原因

一度、送信した内容の誤りが判明し、ミスを取り戻そうと急いで訂正を送ることに気を取られダブルチェックを怠ったため。

7 再発防止策

- ・個人情報の取扱いに関する研修資料等を再度課内で周知し、対応を徹底。
- ・職員に対し、メール宛先をあらかじめBCCに設定したメールひな形の活用やダブルチェックなど、メール送信の手順の点検、見直しを検討するよう指導。

とっとりリアル・パビリオンの実績について

令和7年11月21日
観光戦略課

大阪・関西万博を契機とした観光誘客施策「とっとりリアル・パビリオン」の実績について報告します。

1 誘客実績（推計値）

令和5年6月に策定した2025大阪・関西万博に係る鳥取県ゾーン等展示基本計画における万博期間中の誘客結果について、主要観光地の入込状況から、過去5年間で最高の入込客数となる見込み。（正式にはR8.8月の観光入込動態調査結果で公表）

＜主要観光施設入込客数（R7.4～10月速報値）＞（ ）はR6同期比

R7：合計 3,579 千人（前年比+6.4%）※4～10月の主要観光地の入込客数は全体的に増加

- ・鳥取砂丘 803,042 人（+9.3%）
- ・砂の美術館 323,474 人（+13.1%）
- ・倉吉白壁土蔵群 263,035 人（+2.6%）
- ・県立美術館 236,290 人（-）
- ・青山剛昌ふるさと館 170,110 人（+6.5%）
- ・水木しげるロード 1,212,506 人（△9.3%）

2 取組実績

(1) 特設サイト及びSNSを活用した情報発信

県全体を万博のサテライト会場に見立てた「とっとりリアル・パビリオン」特設サイトで観光コンテンツや旬のイベント情報を発信すると共に、若者世代をターゲットに縦型ショートドラマ等の動画を制作し公式SNS等で配信を行った。

・とっとりリアル・パビリオン特設サイトでの情報発信

令和6年7月19日に「とっとりリアル・パビリオン」をオープンし、411の観光コンテンツを特設サイトで整理・発信するとともに、SNS、メディア、広告、県政広報などで広く周知。併せて「海」「夏祭り」「星・夜空」など、旬のイベント情報等をタイムリーに発信した。なお、アフター万博の誘客を図るため、本サイトは令和8年3月まで継続する。

・縦型ショート動画制作・配信

「とっとりリアル・パビリオン」の魅力若者世代に向けて発信するため、縦型ショートドラマや、ダンス等の縦型ショート動画を制作し、TikTokなどのSNSで配信を行った。（ショートドラマ「第1弾 鳥取に恋をした（全6話）」「第2弾 鳥取に会いに（全6話）」累計400万回再生超え など）

(2) 絶対とっとりキャンペーン

「絶景」「絶叫」スポットや「絶品」グルメなど「絶」を切り口に、総勢1,100名様に鳥取県産品が当たる「絶対！とっとりキャンペーン」を万博に合わせて展開。3つの企画（デジタルスタンプラリー、宿泊者特典、SNS投稿特典）で県内誘客・周遊の促進を図り、合計15,812名の参加があった。

- ・絶対オススメ！ぐるっと周遊とっとりスタンプラリー 参加者数7,412名
- ・帰った後まで絶好調！とっとり宿泊チャンス 参加者数5,235名
- ・絶対いいね👍 とっとりSNSチャレンジ（SNS投稿特典） 参加者数3,165名

3 アフター万博の取組

万博をきっかけに鳥取県の認知度は高まっており、ウェルカニキャンペーンや公式スタンプ、ヨルダンの砂等万博レガシーを活用した取組と情報発信の強化により、今後も引き続き観光客増加を図る。

(1) アフター万博ウェルカニキャンペーン

アフター万博での誘客キャンペーンの一環として鳥取県に泊まると抽選で毎月100名に鳥取の旬のカニが当たる「アフター万博ウェルカニキャンペーン」を実施中（10/14～3/19）。カニだけではなく万博を通じて認知度が向上した砂丘、大山、温泉、まんが等についても積極的にPRを行っている。

(2) 「アフター万博砂ンプラリー」スタート

鳥取砂丘ビジターセンターにある万博公式スタンプを継続設置することで、引き続き県内への誘客を促進。11月1日からは関西パビリオン鳥取県ゾーンのスタンプとヨルダン館から使用許可を得たスタンプも県内に設置し、「アフター万博砂ンプラリー」で県内周遊を促進している。

【期間】令和7年11月1日～令和8年3月31日

【スタンプの設置場所と種類】

設置場所	スタンプの種類
鳥取砂丘ビジターセンター	関西パビリオン・サテライト会場スタンプ
倉吉白壁土蔵群観光案内所	関西パビリオン・鳥取県ゾーンスタンプ
夢みなとタワー	ヨルダン館スタンプ

【その他】

万博公式スタンプパスポートをお持ちでない方にも楽しんでいただけるよう、旅の思い出として持ち帰れるハガキサイズの鳥取県オリジナル記念台紙を作成・配付。

さらに、11月23日から記念台紙に3ヶ所のスタンプを集めた方には、缶バッジまたは「まんが王国とっとり しおり」をプレゼント。

(3) ヨルダンの砂等万博レガシー活用

万博レガシーとして、鳥取県ゾーンのほか、ヨルダン館の砂（ワディ・ラムの砂）などサンド・アライアンス加盟パビリオンの展示物等を県内観光施設等で活用する。

- ①夢みなとタワー3階「環日本海諸国展示」の一部スペースを活用し、万博での本県の取組等を紹介するサンド・アライアンス交流記念エリア（仮称）を設置。（令和8年1月頃予定）
- ②交流記念エリア（仮称）設置に先立ち、11月23日（日）から1階ロビーに「ヨルダンの砂体験コーナー」を設置し、来館者に砂の感触を楽しんでいただく。
- ③アイエム電子鳥取砂丘こどもの国に鳥取県ゾーンやヨルダン館の砂を活用し、ワークショップや砂で遊ぶコーナーを設置する。（年内）

米子ソウル国際定期便のデイリー運航について

令和7年11月21日
国際観光課

米子ソウル国際定期便が12月23日から山陰初のデイリー運航となることが決定しましたので報告します。これを受けて、11月6日に関係者連絡会議を開催し、官民一体となった同便の利用促進について話し合いました。

1 米子ソウル便のデイリー運航

11月5日(水)、米子ソウル便を運航するエアソウルは、好調な搭乗率で推移する同便の12月23日(火)からのデイリー運航を発表しました。

引き続き同社及び地元関係者と一丸となりインバウンド・アウトバウンド対策を実施するとともに、経済・文化交流の活性化を促進し、2026夏ダイヤの運航継続を目指していきます。

【米子ソウル便の概要】

	現在	12月23日～ ※認可申請中
運航曜日	月、水、金、日(週4便)	月、火、水、木、金、土、日(週7便)
運航時間	仁川空港発 13:20 → 米子空港着 14:50 米子空港発 15:50 → 仁川空港着 17:40	仁川空港発 13:20 → 米子空港着 14:50 米子空港発 15:50 → 仁川空港着 17:40 ※運航時間の変更は無し

※使用機材 A321-200 (195席)

※直近の搭乗率 令和7年7月:67.5%、8月:79.9%、9月:80.0%、10月:87.1%

2 米子ソウル便の利用促進に向けた関係者連携会議の開催

米子ソウル便のデイリー運航に向け、より一層の官民連携を図るため、関係者で今後の利用促進対策を話し合いました。

- (1) 日時・場所 11月6日(木) 午前10時から10時30分まで 県庁第3応接室
- (2) 出席者 知事、輝く鳥取創造本部、商工労働部、農林水産部市場開拓局、教育委員会
国際定期便利用促進協議会、鳥取県日韓親善協会連合会
各商工会議所(鳥取、米子、倉吉、境港)、山陰インバウンド機構
日本旅行業協会中四国支部鳥取支部

(3) 主な利用促進対策

<インバウンド対策>

- ・韓国K-POPアイドル(THE BOYZ)を招聘した鳥取の食、自然等の情報発信(第1話:11月26日、第2話:12月3日 youtube 公開)
- ・韓国テレビ局でのスポーツツーリズム発信(11月12日 youtube 公開)
- ・韓国主要旅行会社への秋冬ホームショッピング放映、web特設ページ作成支援(11月～)
- ・エアソウル山陰SNSでのクイズ出題イベントによるまんがグッズ等が当たるキャンペーン(11月～)

<アウトバウンド対策>

- ・近隣県(岡山県北部など)へのデイリー運航PR(web広告、地域情報誌、大学訪問等)(11月～)
- ・利用回数に応じたキャッシュバックポイント2倍(1往復で2,000円キャッシュバック)(12月～)
- ・国際定期便利用促進協議会のホームページでの第三国への乗継情報の発信(11月～)

(4) 主な意見

- ・デイリー運航による利便性の向上で、気軽に来てもらい自分の好みに合わせた滞在が可能となる。さまざまなアクティビティ、体験プログラムを組み合わせ、消費額を増やす取組を強化していきたい。(山陰インバウンド機構)
- ・米子ソウル便のデイリー運航により、地元企業は世界進出の足掛かりとしてほしい。(国際定期便利用促進協議会)
- ・ビジネスの活性化に繋げていくため関係団体と協力し県境を越えた利用促進に取り組んで行く。(米子商工会議所)
- ・韓国への旅行だけでなく、仁川空港を活用した第三国への乗継利用を会員に呼びかける。(倉吉商工会議所)
- ・曜日による制約がなくなるので、法人のインセンティブ、学校行事への提案が広がる。具体的な研修や教育プログラムを提案し、利用促進に繋げていきたい。(日本旅行業協会中四国支部鳥取支部)

第26回日中韓3か国地方政府交流会議への参加及び上海吉祥航空へのプロモーションについて

令和7年11月21日
交流推進課
国際観光課

中国・江蘇省塩城市で開催された第26回日中韓3か国地方政府交流会議に平井知事が参加し、日本代表として本会議のメインテーマ講演及び日中韓自治体関係者との意見交換を行いました。また上海吉祥航空本社（上海市）を訪問し、同社幹部と面談を行ったので報告します。

1 第26回日中韓3か国地方政府交流会議への出席、メインテーマ講演

- (1) 日時 10月16日（木）午前9時～10時50分
- (2) 場所 中国・江蘇省塩城市（塩城国際会展中心）
- (3) 主催 日本自治体国際化協会（日本）、中国人民対外友好協会、大韓民国市道知事協議会
- (4) 参加者 448名
主催者：自治体国際化協会 安田充理事長、中国人民対外友好協会 楊万明(ヤン・ワンミン) 会長、大韓民国市道知事協議会 庾敏鳳(ユ・ミンボン) 事務総長
中国側 嚴漢平(イェン・ハンピン) 塩城市長ほか
韓国側 河炳弼(ハ・ビョンピル) 仁川広域市副市長ほか
日本側 平井知事ほか

(5) 内容

- ・平井知事は「地域連携による多様性のある開かれた発展の促進」をテーマに講演を行い、大阪・関西万博を舞台とした国際交流や、まんが、食、自然など鳥取県の魅力を発信した。
- ・中国・河北省及び吉林省、韓国・江原特別自治道との文化・経済・観光など幅広い分野での交流等、各地域との繋がりや今後の相互発展をアピールした。



知事講演の様子

2 中国人民対外友好協会 楊万明(ヤン・ワンミン)会長との面談

- (1) 日時 10月16日（木）午前10時50分～11時20分
- (2) 場所 中国・江蘇省塩城市（塩城国際会展中心）
- (3) 面談者 中国側：楊万明(ヤン・ワンミン)会長
- (4) 内容
・楊会長から、日中韓の地域間交流において鳥取県がこれまで果たしてきた模範的な役割への評価と今後への期待が寄せられた。
・平井知事からは、会議開催における中国人民対外友好協会の貢献を称え、開催地である江蘇省での鳥取県企業の活躍や高齢者交流、芸術交流等を紹介し、日中韓交流における鳥取県の取組をアピールした。

3 中国・新華社のインタビュー取材

- (1) 日時 10月16日（木）午前11時25分～11時50分
- (2) 場所 中国・江蘇省塩城市（塩城国際会展中心）
- (3) 内容
・塩城市の印象や発展の可能性、再生可能エネルギーの重要性、経済交流、自然保護区等についてインタビューが行われた。
・平井知事は、再生可能エネルギーや経済交流に係る国境を越えた連携の可能性、まんがコンテンツを活かした地域振興、アドベンチャーツーリズムについて紹介し、お互いの地域が生物多様性の維持に向け協調していくことの重要性を指摘した。

4 平井知事による上海吉祥航空へのプロモーション

- (1) 日時 10月16日（木）午後6時30分～7時
- (2) 場所 台郷縁・台府 張江科学城店（上海市浦东新区海科路999弄C座4号楼）
- (3) 出席者 上海吉祥航空 于成吉(ユイ・チャンジ) 総裁ほか
- (4) 内容
・平井知事から米子上海便の運航再開を働きかけ、于総裁からは「機材繰りの問題もあり、路線再開にはもう少し時間をいただきたい」と回答があった。
・于総裁と平井知事は、今後路線再開に向けて定期的にコミュニケーションを図りながら、関西空港や神戸空港の同社便を活用した本県への誘客を図り、米子路線が再開できる環境を共同で作っていくことで合意した。



于成吉 総裁との記念撮影

フランス・パリでの知事トッププロモーション等について

令和7年11月21日
交 流 推 進 課

フランス・パリ市内において、知事により観光・物産トッププロモーションや在仏日本国大使館公邸において鳥取県 PR レセプションを開催するなど、鳥取県の食、観光、まんがの魅力発信を行いましたので報告します。

1 Japan Experience 社訪問概要

- (1) 日 時 11月11日(火) 10時20分～11時(現地時間)
- (2) 場 所 Japan Experience 社(フランス パリ市内)
- (3) 出席者 Thierry Maincent(ティエリー・マンソン) CEO ほか
- (4) 内 容

- ・フランスからの最新訪日旅行動向について情報収集し、本県への観光客誘致に向けたプロモーション連携について意見交換を実施した。
- ・鳥取うみなみロード等を活用した自転車旅と鳥取砂丘等の組合せにより、他地域にはない旅の魅力が打ち出せるのではないかと意見があり、今後、モデル的なインバウンド商品の造成について連携を図っていくことで合意した。



ティエリー・マンソン CEO
との面談の様子

2 エイチ・アイ・エス パリ支店訪問概要

- (1) 日 時 11月11日(火) 11時45分～12時15分(現地時間)
- (2) 場 所 エイチ・アイ・エス パリ支店
- (3) 出席者 kevin BERTHON(ケヴィン・ベルトン)パリ支店長、大峯 貴志(おおば たかし)オランダ支店長、川端 徹也(かわばた てつや)ドイツ支店長 ほか
- (4) 内 容

- ・欧州での観光情報発信や本県へのインバウンド送客などへの協力を働きかけた。
- ・鳥取砂丘や大山、まんがなどの観光コンテンツとサイクリングや伝統工芸体験などを組み合わせたツアー造成の提案がなされ、今後、本県への誘客に向けた連携を図っていくことで合意した。



ケヴィン・ベルトン支店長等
との面談の様子

3 「iRASSHAI(イラッシュアイ/日本食材を取り扱うレストラン)」での日本酒試飲イベント

- (1) 日 時 11月11日(火) 15時30分～16時30分(現地時間)
- (2) 場 所 iRASSHAI 店内(フランス パリ市内)
- (3) 出席者 iRASSHAI グザヴィエ・マルシャン オーナー、岡空(おかそら)社長室長(鳥取県酒造組合代表代行) 他
- (4) 内 容

- ・マルシャン氏との面談では、知事から GI(地理的表示)を取得した鳥取の日本酒の更なる販路拡大について協力を依頼した。また、店舗・酒販会社側からは、フランスでの近年の日本酒の人気の高まりを受けた販売戦略の中で、鳥取の日本酒の取り扱いを更に進めていく意欲が示された。
- ・店頭で行われたトッププロモーションには50名程度が集まり、「スッキリとした飲み口の良さに驚いた。とても美味しい。」など、多くの来店客から期待を超える高い評価を受けた。



日本酒試飲イベントの様子

4 フランス在住鳥取県ゆかりの関係者との意見交換会

- (1) 日 時 11月11日(火) 19時～20時30分(現地時間)
- (2) 場 所 Restaurant Kozo 店内(フランス パリ市内)
- (3) 出席者 ギョーム・ダレリー ラマルー・レ・バン町長ほか鳥取県ゆかりの関係者 11名
- (4) 内 容

- ・鳥取県の食や温泉、自然などの魅力についてアピールするとともに、フランスの皆様へ鳥取県の魅力をお伝えいただくよう協力を依頼した。
- ・三朝町と交流するラマルー・レ・バン町のギョーム・ダレリー町長からは、長年続く三朝町との交流について紹介され、特に青少年交流を今後も継続していきたいとの意気込みが示された。

5 DEJIMA STORE PARIS（県民工芸品等を取り扱うセレクトショップ）と連携したプロモーション

- (1) 日 時 11月12日(水) 9時30分～10時(現地時間)
- (2) 場 所 DEJIMA STORE PARIS (デジマ・ストア・パリ) (フランス・パリ市内)
- (3) 出席者 Timothée Kaplan (ティモテ・カプラン) 共同代表、
Mamie Boude (マミーブドゥ) [コンビ名(インスタグラマー)]
- (4) 出品分野 陶器、和紙、弓浜緋、郷土玩具、張り子面、和包丁、染め物 等
- (5) 内 容

- ・マレ地区のセレクトショップ「DEJIMA STORE」と連携し開催する「鳥取民芸品フェア(TOTTORI CRAFT WEEK)」(期間: 11/12(水)～16(日))のオープニングセレモニー開催、本県民芸品の歴史や魅力をアピールするとともに、カプラン氏と「マミーブドゥ」をとっとり魅力発信アンバサダーに任命した。
- ・フェアに来場した多くのパリ市民が、実際に商品を手に取り、素材や色使い、デザインの良さに感心している様子だった。



「マミーブドゥ」へのアンバサダー委嘱

6 国立ギメ東洋美術館での意見交換、まんが王国ととりのプロモーションほか

- (1) 日 時 11月12日(水) 11時～11時55分(現地時間)
- (2) 場 所 ギメ東洋美術館 (フランス パリ市内)
- (3) 出席者 Jamel Oubechou (ジャメル・ウベシュウ) 総務部長
- (4) 内 容

- ・11月19日から開催される企画展「Manga. Tout un art!」展で水木しげる先生の原画が展示されることから、「まんが王国ととりの」の取組をアピールした。
- ・ウベシュウ総務部長からは、今回の企画展に大変な反響があり、日本の漫画文化がフランスでも大変注目されているといった状況を伺い、今後も継続的に交流していくことで合意した。



意見交換の様子

7 Japan Expo 主催者 トマ・シルデ社長との意見交換会

- (1) 日 時 11月12日(水) 14時5分～14時40分(現地時間)
- (2) 場 所 JTS PARTICIPATIONS 社 (フランス パリ市内)
- (3) 出席者 Thomas SIRDEY (トマ・シルデ) 社長ほか
- (4) 内 容

- ・鳥取県の観光や食、「まんが王国ととりの」の魅力を紹介するとともに、インバウンド客誘致に向けた連携を提案した。
- ・トマ・シルデ社長から、来年7月にパリで開催される「Japan Expo 2026」において「まんが王国ととりの観光のみならず、食などの魅力を『オール鳥取』として紹介する特別な出展」の提案があり、今後連携を図っていくことで合意した。



トマ・シルデ社長との面談の様子

8 鳥取県 PR レセプション (ととりの食、観光・自然の魅力発信)

- (1) 日 時 11月12日(水) 17時～19時(現地時間)
- (2) 場 所 在仏日本国大使館公邸 (フランス パリ市内)
- (3) 出席者 在仏日本国大使: 下川 眞樹太 (しもかわ まきた) 大使
ギョーム・ダレリー (Guillaume DALERY) ラマルー・レ・バン町長
現地メディア、飲食・インポーター、観光事業者、公的機関など 合計 81名
- (4) プロモーション概要

鳥取県と在仏日本国大使館の共催により、とっとりメルシーブランチ アラン・マリー氏によるプレゼンテーション、県酒造組合によるGI認定された本県日本酒のPR、県調理師連合会知久馬会長の料理パフォーマンス等を通じ、鳥取県産食材や観光、工芸品をはじめとした本県の魅力をアピールした。

- (5) 内 容
- ・レセプション開始前に下川在仏日本国大使と平井知事が面談し、鳥取県のヨーロッパでの認知度向上、相互交流促進などについて幅広く意見交換を行った。
 - ・来場者の多くは初めて鳥取県の食材に触れる機会となったが、「美味しい」との言葉と共に、使用した食材を含め、鳥取の食材を使いたいとの声が多く聞かれた。
 - ・予想を上回る81名に出席いただき、下川大使も「これまでにない盛況」と絶賛いただいた。取材いただいた日系メディアから「今回のイベントのような、リアル鳥取をPRすれば、フランスの人たちはもっと鳥取に来る」とのコメントをいただいた。



鳥取県 PR レセプションの様子

調布市「ゲゲゲ忌」における情報発信について

令和7年11月21日
まんが王国官房

水木しげる先生の命日に調布市が開催する「ゲゲゲ忌」において、境港市等と連携してまんが王国ととっとりと観光の魅力発信を行います。

1 調布市役所前庭での催し

11月22日(土)、23日(日)午前11時から午後4時まで、着ぐるみグリーティングほかステージイベント、各出展者によるグッズ販売、飲食提供等の実施

(1) 特設ステージ上での鳥取県紹介

実施時間 1日当たり2回(1回30分程度)

内 容 ・鳥取県の観光物産PR、「ウエルカニキャンペーン」「水木しげる記念館」「とっとリアルパビリオン」等の紹介

(2) 鳥取県PRブースの設営

内 容 ・鳥取県物産品の販売(鳥取県物産協会)
・鳥取県物産品を購入されたお客様に抽選で賞品贈呈(食パラダイス推進課)
・かに汁の提供(境港市)

2 鳥取県PR展示

実施日 11月18日(火)から11月30日(日)まで
会 場 調布市文化会館たづくり 1階エントランスステージ
内 容 バナー・ポスター展示、チラシ配架、観光動画映写
そ の 他 主催者による献花台の設置等

3 アニメ特別上映会※での観光PRの実施

実施日 11月21日、22日、23日、24日、29日、30日(計6回)
会 場 イオンシネマ シアタス調布、調布市文化会館たづくり「くすのきホール」
内 容 上映会幕間における観光PR動画及び「水木しげる生誕祭」PR動画の上映

※アニメ特別上映会(概要)

- ・収容人数 各回200人又は500人程度
- ・料 金 大人 前売5,500円・当日6,000円
※21日、22日のみ それぞれ4,000円・4,500円
- ・内 容 アニメ映画「ゲゲゲの鬼太郎」の上映
出演声優・スタッフによるトークショー

(参考)「ゲゲゲ忌」全体概要

開催期間 11月18日(火)から11月30日(日)まで
会 場 調布市役所前庭、調布市文化会館たづくり、イオンシネマ シアタス調布
主 催 調布市(協力:水木プロダクション、東映アニメーション等)